



2025年2月19日

各 位

会 社 名 GFA 株式会社
代表者名 代表取締役社長 片田 朋希
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年1月8日付「第三者割当による新株式及び第16回新株予約権、第17回新株予約権の発行に関するお知らせ」にて公表しました「新株予約権（第16回新株予約権、第17回新株予約権）の発行により調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期」について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、2025年1月8日付「第三者割当による新株式及び第16回新株予約権、第17回新株予約権の発行に関するお知らせ」にて開示のとおり、第三者割当による資金調達を行っております。

第三者割当により調達する資金の具体的な使途として、「⑦M&A、資本業務提携による法人取得における投資資金及び法人取得初期における運転資金」に充当して予定でもあります。

現在、新たな事業収益化となる当社グループとしての収益基盤の拡大に向けて、さらに加速していくための企業とのM&Aまたは資本業務提携を見込んで、当社の企業規模、M&Aまたは資本業務提携の対象となる会社の企業規模、売上規模、当社の財務状況や投資計画等も勘案しながら、各種案件の取り組みを検討しております。

この戦略を前提に投資スキームを検討しているなかで、案件によっては、株式取得を前提とするものではなく、上場企業の資金調達に対してエクイティファイナンスではない、上場株式を担保とした融資など、当社のデットファイナンスによる支援型のスキームがより効果的かつリターンが図れること、また資本業務提携を探るなかで、当社子会社証券におけるファンド組成なども見据えた、非上場企業の少数株買い取りに特化した事業会社との共同事業における事業投資型ファイナンスプロジェクトへの参画になっていくケースが見込まれています。

前述のとおり、「⑦M&A、資本業務提携による法人取得における投資資金及び法人取得初期における運転資金」から派生するものではありませんが、資金の形態や案件による収益還元も変わってくることから、事業会社に対する投融資資金として明確に位置付けをするため、資金使途の変更を行っております。

また、新株予約権（第16回新株予約権、第17回新株予約権）の発行による調達資金のうち315百万円を「②当社における借入金返済資金」に充当する予定でありましたが、借入先から予定していた返済期日前での返済意向があったことから、今回追加でこの借入先への返済に充てることとなったため、資金使途の変更を行うに至っております。

なお、追加での借入先の名称につきましては、借入先からの意向により公表を控えさせていただきます。

今回、新株予約権（第16回新株予約権、第17回新株予約権）の発行により調達する資金使途に「⑨事業会社に対する投融資資金」の項目を新たに追加し、「⑦M&A、資本業務提携による法人取得における投資資金及び法人取得初期における運転資金」に充当する予定であった5,680百万円のう

ち1,000百万円を「⑨事業会社に対する投融資資金」として、100百万円を「②当社における借入金返済資金」として使用するため、資金用途を変更いたします。

また「②当社における借入金返済資金」に振り替えました100百万円の充当方法に関しては、自己資金で賄う予定です。

2. 変更の内容

変更箇所には下線を付しております。

(変更前)

<本新株式の発行により調達する資金の具体的な用途>

具体的な用途	金額	支出予定時期
① 運転資金	300百万円	2025年1月～2025年4月
② 当社における借入金返済資金	300百万円	2025年1月～2025年2月
合計	600百万円	

(注) 1. 上記の資金用途に充当するまでの間、当該資金は事業用資金とは別の銀行預金で保管する予定です。

<本新株予約権の発行により調達する資金の具体的な用途>

具体的な用途	金額	支出予定時期
② 当社における借入金返済資金	<u>315百万円</u>	2025年1月～2026年1月
③ 当社子会社（アトリエブックアンドベッド株式会社）における借入金返済資金	215百万円	2025年1月～2025年12月
④ 当社子会社の設備投資等資金	154百万円	2025年1月～2027年1月
⑤ 太陽光発電施設の取得資金	230百万円	2025年1月～2027年1月
⑥ 販売用不動産の仕入資金	120百万円	2025年1月～2027年1月
⑦ M&A、資本業務提携による法人取得における投資資金及び法人取得初期における運転資金	<u>5,668百万円</u>	2025年1月～2028年1月
⑧ 子会社による仮想通貨の購入資金	1,000百万円	2025年1月～2025年8月
合計	7,714百万円	

(変更後)

<本新株式の発行により調達する資金の具体的な用途>

具体的な用途	金額	支出予定時期
③ 運転資金	300百万円	2025年1月～2025年4月
④ 当社における借入金返済資金	300百万円	2025年1月～2025年2月
合計	600百万円	

(注) 1. 上記の資金用途に充当するまでの間、当該資金は事業用資金とは別の銀行預金で保管する予定です。

<本新株予約権の発行により調達する資金の具体的な用途>

具体的な用途	金額	支出予定時期
② 当社における借入金返済資金	<u>415百万円</u>	2025年1月～2026年1月

③ 当社子会社（アトリエブックアンドベッド株式会社）における借入金返済資金	215百万円	2025年1月～2025年12月
④ 当社子会社の設備投資等資金	154百万円	2025年1月～2027年1月
⑤ 太陽光発電施設の取得資金	230百万円	2025年1月～2027年1月
⑥ 販売用不動産の仕入資金	120百万円	2025年1月～2027年1月
⑦ M&A、資本業務提携による法人取得における投資資金及び法人取得初期における運転資金	<u>4,568百万円</u>	2025年1月～2028年1月
⑧ 子会社による仮想通貨の購入資金	1,000百万円	2025年1月～2025年8月
⑨ 事業会社に対する投融資資金	<u>1,000百万円</u>	<u>2025年2月～2028年1月</u>
合計	7,714百万円	

なお、本新株予約権の行使による払込みは、原則として新株予約権者の判断によるため、新株予約権行使により調達する時期は、新株予約権の行使状況によって決定されますが、今回は、当該資金使途が当社の企業価値の創造と向上に大きく寄与するものであることを割当予定先の方々からも理解を得ており、当社事業の進捗に応じた行使及び株価上昇にも応じて、当社側における行使指示条項もあることから、タイムリーな資金調達を可能とした条件ともなっております。

ただ、新株予約権の行使が思うように進まない場合には、資金使途の見直し及び別途の資金調達の可能性があることにも変更はございません。

3. 今後の見通し

本件変更が2025年3月期の業績に与える影響は軽微と考えておりますが、今後の業績に与える影響について開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上